



【 鈴木 茂 プロフィール 】

- ・昭和 30 年生れ。
- ・大石小・中学校、熊谷高等学校、明治大学法学部卒業。
- ・大宮市立（現さいたま市）春里・泰平・指扇中学校教諭。
- ・大石小・中学校 PTA 会長。
- ・上尾私立幼稚園協会副会長。
- ・全埼玉私立幼稚園連合会理事。

【 現在 】

- ・上尾市議会議員
- 文教経済常任委員会・議会運営委員会・議会報員会(委員長)
- 上尾市民クラブ所属
- ・(学)浅間台幼稚園園長
- ・(社)特別養護老人ホーム「パストーン浅間台」理事長代理

問い合わせ先 後援会事務所 〒362-0073 上尾市浅間台 2-18-3  
TEL 048-771-7656 FAX 048-774-5880 E-mail [info@asamadai.ed.jp](mailto:info@asamadai.ed.jp)  
浅間台幼稚園 〒362-0076 上尾市弁財 2-5-3 TEL 048-774-1046

みなさん今日は、上尾市議会議員 鈴木 茂です。

6月6日から6月22日まで6月議会が開かれていました。私も市議会議員として初の一般質問もさせて頂きましたのでその主な内容を報告させていただきます。

## 鈴木茂 初の上尾市政に関する一般質問 (6月13日水曜 3:30~4:30) 主な要旨

**I = 意見 Q = 質問 A = 市当局の回答 Y = 要望**

**I** 上尾市は、残念ながら5年後には人口減少に転じるとの予測が出されている。

**I** 2011年の出生率は1.39。若干出生率は下げ止まった感はあるが、出生数は昨年度比2万606人の減である。

**I** 上尾市だけで出生率を上げるのは困難だが、他市との差別化を図り、若者を転入させるべきだと私は考える。政令指定都市の隣にあって小さいがキラリと光る街をめざすべきだと考える。

**I** それには、3つの柱が大事だと私は考える。

- ① 子育てを支援する街上尾
- ② 教育に力を入れる街上尾
- ③ 防犯・防災に力を入れる街上尾

**I** 上尾市の平均標高は15.0m。さいたま市10.3m。同じ程度の人口の春日部市は6.4m。大きな地震が起こった場合も上尾市の方が安全だと考える。このあたりもPRしてはどうか。

### 子育て支援 ◎幼稚園保護者の負担軽減を

◎3人乗り自転車・幼児用ヘルメット補助制度の創設を

**I** 子育て支援というと、待機児童対策、保育所の増設、長時間保育、夜間保育、病時保育をすべきだとの意見が今までであった。昨今の若者の労働条件が厳しい事は百も承知だが病気になっても保育所に預けられる子どもの気持ちは考えられているのだろうか？三つ子の魂百までもの言い伝えは今でも生きている。

**Q** 私は、女性の社会進出を批判するつもりは毛頭無い。しかし今の経済優先の考えは、子どもの事を置き去りにしており将来に禍根を残す事になるのではないかと私は考えるが、島村上尾市長のお考えは？

**I** 上尾市の3~5歳児は保育所に1,474人。幼稚園に4,768人。幼稚園に通う子は保育所に通う子より3.2倍。つまり保護者も3.2倍。

**I** 国と市が補助金を出す「幼稚園就園奨励費補助事業」があるがそこには「公私立幼稚園間の保育料の格差を是正することで、幼児教育の振興を推進する」と書かれている。

**Q** 上尾市の公立の平方幼稚園と私立幼稚園の保育料・入園料の差は？

**A** 平方幼稚園は入園料が無い。私立幼稚園平均入園料は56,500円。平方幼稚園の保育料は月額7,500円。年額9万円。私立幼稚園は月額平均2万5千円、年額30万円。3年間在園した場合の年間平均支払額は31万9千円。平方幼稚園との差額は22万9千円。

**Q** 上尾市単独の事業である「私立幼稚園児保護者負担軽減費補助事業」で上尾市は第1子に18,000円。第2子に20,000円。第3子に25,000円の補助だが他市との比較は？

**A** さいたま市は年額4万円。所沢市が3万4千円。和光市が2万4千円。入間市が1万7千円。幸手市が7千円。

**Y** 上尾市は民間保育所運営補助に1億6千4百万円。市立保育所運営費に5億1千5百万円（正規職員給与を含まずに）民間委託保育所事業に9億2百万円。合計15億8千百万円。幼稚園就園奨励費補助事業2億7千8百万円。私立幼稚園児保護者負担軽減費補助事業に7千百万円。合計3億4千9百万円。4.5倍の差がある。  
幼稚園に子どもを通わせる若いお父さんお母さんを支援するために更なる補助金の増額を要望する。取り分け二人以上在園している家庭への補助の増額を強く要望する。

**I** 2009年7月道路交通法規則の一部改正により3人乗り自転車が認可された。3人乗り自転車は高価で最低でも5万円程度はする。前橋市、古河市、葛飾区などは直ぐに補助金の助成をする事にした。葛飾区では区内の自転車組合加盟店55店舗で購入した場合金額の1/2、上限3万円まで助成している。上尾市は「自転車の街上尾」を目指している。地元商店街の活性化にも繋がる。三鷹市では315万円を計上し新型3人乗り自転車のレンタル事業を実施している。

**I** 千葉県浦安市では、児童・幼児用自転車ヘルメットに2,000円の補助を出している。

**Q** 上尾市は3人乗り自転車の補助制度、幼児用自転車ヘルメットの補助の実態をどの程度把握しているのか？子育て支援のPRのためにも補助制度を創設すべきだと考えるが、当局の見解を伺いたい。

**A** 自転車は、保育園や幼稚園の送り迎えなど、子育て中の家庭にとって有用な移動手段と認識している。3人乗り自転車は、高価であることや利用期間が幼児期だけと短いことからあまり普及していない。埼玉県内では川口市、行田市、熊谷市、桶川市などで「レンタル」や「購入補助」の事業を実施している。今後は事業を実施している各市の詳しい事業内容や課題を確認し、子育て支援施策全体の中で事業の実施について調査・研究していきたい。

## 教育支援

◎地域の方のボランティアで寺子屋教室を

**I** 豊後高田市の「学びの21世紀塾」では、市長が塾頭になり「このまちを誇りに」「良き納税者を育てる」をスローガンにボランティアで教室や公民館を使って教材費だけで町が補習塾を行っている。

**I** 私の選挙を手伝ってくれた方に定年を過ぎて元気で優秀な方がたくさんいらっしゃった。そういう方に知的な面でもボランティアで社会に貢献してもらってはどうか。「地域の子は地域で育てる」という看板をよく見かける。分数でつまずいた子や中学校で英語でつまずいた子を地域のおじさんやおばさんが基礎からボランティアで教える。これがまさしく「地域の子は地域で育てる」である。勉強が出来ない、塾に行く余裕も無い、いじめられる、不登校になる、成人して引きこもりになる、親が亡くなった後は生活保護になる。この負の連鎖を一人でも救えたらと思うがどうか。やがてこれによって救われた子は「上尾を愛し」「上尾で子どもを産み」「良き納税者」となっていくであろう。

**I** 豊後高田市は、大分県の人口2万5千の小さな街である。しかし、政令指定都市のさいたま市でも同じような取り組みをしている事を知った。さいたま市では、教育委員会が「さいたま土曜チャレンジスクール」を子ども未来局が「さいたま放課後チャレンジスクール」を実施している。

**Q** 教育に力を入れる街上尾として、上尾版の「学びの21世紀塾」上尾版「チャレンジスクール」を実施すべきだと考えるが当局の見解を伺いたい。

**A** 鈴木議員さんの提案の趣旨に近いものに本市としては、学校週5日制が実施となった平成14年度から3年間にわたり「アッピーわんぱくクラブ」を実施した。公民館や図書館でも各種の事業を実施した。中学生は部活などから殆ど参加がなかった。昨年大石公民館、大石小学校が中心となり夏期休業中と冬期休業中に「学びランドお・お・い・し」を実施した。「英語で遊ぼう」「不思議なサイエンス」の様な体験型講座は多くの参加者がいたが、「算数」のようなドリル学習は参加者が少なかった。今後このような事業を進めていくには参加しやすい環境づくりの工夫など十分な検討が必要である。長期休業中は、エアコンの整備された学校図書館や公民館を使いわゆる寺子屋が開かれている地域もあるがその成果を検証しながら、ご提案の趣旨が社会的な要請となっていくのか見極めながら上尾市版の仕組みができるか検討していく。

**Y** 私の提案は、どこが担当するのか難しいようだ。教育委員会の指導課なのか、教育委員会総務部の生涯学習課なのか、総務部の青少年課なのか。今回の質問に対しても誰が答弁するか迷われたようだ。このような縦割り行政を打破するためにも色々な課を超えた新たな上尾版「学びの21世紀塾」の創設をお願いしたい。その講師は学校の先生ではない一般の人をお願いし、先生は子ども達や保護者に紹介する窓口にも、市は事業が円滑に進むためのコーディネイターになって欲しい。後日の議会でもどのように検討したか再度質問したいと思う。

## 浅間台地区側溝整備

◎浅間台地区側溝整備事業の進捗状況は

◎側溝整備の順番は？公園等の公共施設の整備を



6月13日（水）初めての上尾市政に対する一般質問をしました。

**I** 中村清治前市議会議員が12年前に立候補した時の公約が浅間台地区の側溝整備事業でした。私が今回立候補するにあたって浅間台区民の第一の要望は、やはり側溝整備でした。

**Q** 浅間台地区の側溝整備の進捗状況を聞きたい。

**A** 上尾市では、通行の安全性を高めると共に、側溝内の雨水の流れを確保するため再整備に取り組んでいる。昨年度は、北上尾駅周辺や雨水の流れが不良な箇所道路側溝の入れ替えによる再整備を行うなど安全対策に努めている。側溝の再整備の取り組み状況は、平成23年度末

時点で、側溝総延長、約5万3千メートルに対して、約2万5千メートルの再整備を実施。整備率は約47%。

**Q** 財政状況が悪いのは、十分承知している。問題は、側溝整備の順番が区民に分からない事である。順番の透明性が問題。どのような順で行っているのか知りたい。

**A** 市民の安全を第一に考え、交通量の多い道路や雨水の流れを確保すること、水道・ガスなどのライフラインの整備が完了した道路を優先的に実施している。今年度も約340メートルの側溝整備を計画している。

\*道路予算は、平成元年13億9千万円、10年11億8千万円、20年6億5千万円、24年4億2千万円と減少している。

**Y** 財政状況が悪いのは認識している。公園等の公共施設付近の整備を。整備が途中で中断している道路の側溝整備を優先的にお願いしたい。

次回の9月議会は、8月28日開会、9月14日閉会予定です。次回の議会でも一般質問を予定しております。発達障害児の支援とBS工場の今後についての質問を予定しております。前回傍聴できなかった方はお時間の都合が付きましたら傍聴をお願い致します。